

ママと子どもたちを、放射能から守ろう！

～東日本大震災・鹿児島の「ママとこかごしま」～



被災された方々が一日でも早く平穏な生活に復帰できるよう心から願います。

私たち「ママトコかごしま」は、東日本の方々、特に放射能から避難したい

ママと子どもたちの受け入れや、

疎開・保養のサポート、交流会の企画をしています。鹿児島の皆さんのお力を必要としている方がたくさんいます。ご協力お願い致します。

★ 疎開・保養を考えているママが東北・関東にたくさんいます。

東日本大震災による福島第一原発の事故。大量に放出された放射能により、福島だけでなく、東北の他の県や関東地方でも、健康に影響が出てしまうほど放射能の高い地域「ホットスポット」が見つかっています。おっぱいから放射能が検出されたお母さんもたくさんいます。子どもたちは大丈夫なのでしょうか？

★ 鹿児島でも受け入れをはじめました！でも、人手もお金も足りません。

ホットスポットでいちばん心配なのは、空気・水・食べ物などから放射性物質が体内に入ってしまう内部被ばくです。年齢が低いほど影響が大きな放射能。赤ちゃんとお母さん、妊婦さんに、安全な環境と住まいを提供したい。その思いから、受け入れをはじめています。ですが、疎開の問い合わせもとても多く、サポートをする、私たちの人手が足りません。また、鹿児島に来たくても交通費がないというお母さんもたくさんいます。

★ わたしたち「ママトコかごしま」の活動にご協力ください。

<主な活動内容>

- ・毎月、疎開中のママと子どもの交流会「おしゃべり会」を行っています。
- ・原発事故、震災がれき、給食、環境、子育てなどを鹿児島に住むママたちと一緒に考える座談会、勉強会、映画上映会などの企画を行っています。是非ご参加ください。
- ・鹿児島で疎開・保養をされ、東北・関東に戻られたママとご家族へ、お米や野菜を送るなどのサポート
- ・家電や家具の確保や引っ越しの加勢、お買い物のサポート
- ・子どもたちの遊び相手、ママたちのメンタルケア



サポートチームのマーリングリストがあります。
ご参加いただける方はメールをください。

❖ 疎開のためのカンパに じかかください。

東日本から鹿児島への交通費の補助のため。

疎開・保養支援のための活動資金として。ご協力ください。

鹿児島銀行 天神馬場支店 店番020 普通 3001003

「ママトコかごしま」 <http://nonukesmam.exblog.jp> ←活動はこちらHPでチェック！

mamatocokago@yahoo.co.jp

2013年2月発行



保養プロジェクト かごしま

福島の子どもたちを守ろう



「2歳のわが子は、

土に触つたことがないんです」

その言葉に涙が止まらなかつた。

夏の草のにおい、秋の落ち葉を

踏んだ時のカサカサいう音、

冬の冷たい空氣の中で見る星空、

春風にのつてくる、桜の花びら。

自然の中で季節を感じる。

かごしまの子どもたちには、当たり前のこと。

ふくしまの子どもたちには、特別なこと。

幼い子どもたちほど

影響を受けやすい放射能。

でも汚染地域から離れて、

免疫力を高め、

年間被ばく量を抑えることで
影響を減らすことができる。

福島の子どもたちに

元気になつてほしい。

思いつきり自然の中で

遊んでほしい。

そんな思いで、保養プロジェクトを始めます。

遠く離れているからこそ、できることがあります。

皆さんのチカラを貸してください。

ママトコかごしま

「保養プロジェクトかごしま」とは

福島県に暮らすお母さんと子どもたちを鹿児島に招待し、短期間滞在してもらいます。外遊びのプログラムや、鹿児島の温泉、県内産の安心な食材を使ったごはんでもママも子どももリラックスしてもらい、免疫力を高めてもらうプロジェクトです。ご協力よろしくお願ひいたします。

主催：ママトコかごしま（担当 井上）

<http://nonukesmam.exblog.jp/>

tel : 070-5402-4740

mail : rockcrazym@willcom.com

保養プロジェクトかごしま

福島の
子どもたちを
守ろう

福島はいま、どうなってるの!?

2011年3月11日の福島第一原発の事故の後、放射能被ばくを避けるために東北・関東から移住する人たちが増えています。私たちママトコかごしまは、そんなお母さんと子どもたちの疎開・保養のサポートを行っている小さな団体です。昨年は福島の保育園に、鹿児島の無農薬でつくったお米を送りました。そのつながりで2012年10月、ママトコのメンバーが福島の保育園の子どもたちに会いに行ってきました。

福島のお母さんたちの声

「子どもの口内炎が治らない、鼻血が止まらない、下痢が続く」「甲状腺検査で子どもに異常が見つかり心配だが、病院からは『追加検査の必要はない』と言われた」……。お母さんたちは、「いま福島で暮らすということ」について話してくださいました。ここ鹿児島では震災や原発事故の記憶は薄れていこうとしていますが、まだ何も終わっていないことをはっきりと感じました。

福島の現状

現在福島県から県外に移住した人は6万人を超えます。福島の子どもたちの半数近くに甲状腺の異常が見つかっており、食べ物の放射線量の基準値も依然高い状況です。例えば週末だけでも福島を離れリラックスしたいというニーズは数多く寄せられます。しかし、それがかなわない方も、本当にたくさんいらっしゃいます。

鹿児島に暮らす私たちができるこどって、なんでしょう？

鹿児島だからできること。それが「保養プロジェクトかごしま」です

「安心な鹿児島に行きたいけど、経済的に厳しい」「共働きのため、長期の休みがとれない」。いま、切実に保養を必要としている福島のお母さんと子どもたちに、鹿児島に来てほしい！ そんな思いで、私たちママトコかごしまは「保養プロジェクトかごしま」を行います。

「保養プロジェクトかごしま」概要

★日程：2013年3月27日～4月3日

(7泊8日)

★滞在先：鹿児島市内を予定

★対象：福島県に在住する母子3組

予算(お母さんとお子さん2人×3組=9人の場合)

交通費 (福島→鹿児島 往復航空券)	大人*	@50,000×3 =	150,000円
	子ども	@35,000×6 =	210,000円
甲状腺検査		@7,000×9 =	63,000円
保険料		@3,000×9 =	27,000円
滞在費	食材費、 施設利用費など	@20,000×9 =	180,000円
スタッフ交通費	空港からの 送迎など	(8日分)	10,000円
印刷費			20,000円
合計			660,000円

*大人の交通費は一部参加者に負担して頂きます

現在、自己資金 200,000円 (2012年12月)

あと 460,000 円足りません!!

保養プロジェクトへの力
ンパのご協力をお願いし
ています。ボランティア
スタッフも大募集中！

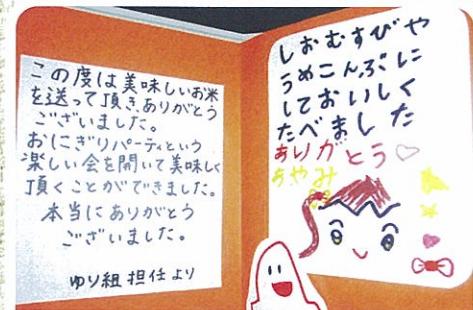
口座番号：鹿児島銀行
天神馬場支店
店番 020
普通 3001003
ママと子どもを放射能から守る会かごしま

よろしく
おねがい
します。

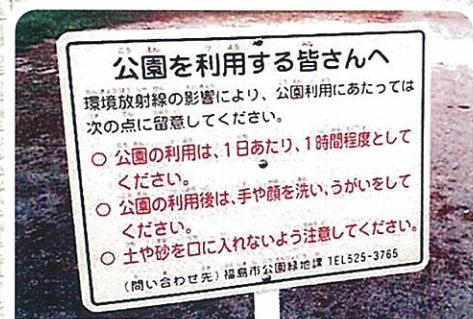


主催：ママトコかごしま（担当 井上）
<http://nonukesmam.exblog.jp/>
tel : 070-5402-4740
mail : rockcrazym@willcom.com

Design : juntoki Illustration : さめしまことえ



子どもたちから、うれしいメッセージ！！



福島の公園に設置されていた看板

プログラム

子どもたちには外遊び！！

遊びざかりの子どもたち。「土に触れる」をテーマに、森や海や川で思いっきり、遊んでもらいます。

- ・足先に春を迎える鹿児島で楽しいお花見。
- ・自然観察や農業体験、陶芸体験。
- ・草スキーや温水プール。



ママにはリラックス♥

子どもたちが外で遊んでいる間、ママたちにも目一杯リフレッシュしてもらいます。

- ・鹿児島自慢の温泉でのんびりゆったり。
- ・安全な食材を使った免疫力upのマクロビ料理教室。
- ・ヨガ、ストレッチ教室。



きちんと調べてほしい、甲状腺検査

福島県が実施した甲状腺検査では、半数近くの子どもたちに20mm以下の、のう胞が見つかりました。しかし福島県内の病院では、県の指示により追加検査すぐには受けられません。この追加検査を鹿児島のお医者さんとの協力で、鹿児島で受けさせてもらうことになりました。

※プロジェクトの内容は、すべて2012年12月現在での予定となります